

学校コード F122310106337

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**届出**

注2

聖隷クリストファー大学 国際教育学部

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 聖隷学園  
令和5年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名	総務部
職名・氏名	フチョウ オカハラ ケンジ 部長 中村 憲司
電話番号	053-439-1400 (内線: 1161)
(夜間)	053-439-1400 (内線: 1161)
e-mail	somu-office@seirei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

国際教育学部

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	13
4. 既設大学等の状況 . . . . .	14
5. 教員組織の状況 . . . . .	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	38
7. その他全般的事項 . . . . .	39

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 聖隷学園

## (2) 大学名

聖隷クリストファー大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒433-8558  
静岡県浜松市北区三方原町3453

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハセガワ リョウ) 長谷川 了 (平成元年4月)		
学長	(オオギ ショウヘイ) 大城 昌平 (平成29年4月)		
学部長	(オオタ マサコ) 太田 雅子 (令和5年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際教育学部 こども教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	50人	2年次0人 3年次0人 4年次0人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期						
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	50 ( ) [ ]	1.04倍	- 倍	1.04倍	- 倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	123 ( ) [ ]					
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	121 ( ) [ ]					
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	100 ( ) [ ]					
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	52 ( ) [ ]					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.04					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	52 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			
3年次					- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			
4年次							- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			
計	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	52 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和5年度	52 人	0 人	令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{52} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<国際教育学部 こども教育学科>

(1) -① 授業科目表

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	***	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎領域	聖隷の理念と歴史	1後	2						1		1	
	キリスト教概論	1前	2								1	
	キリスト教人間論	1前・後	1								1	
	キリスト教の歴史	2前・後	1								1	
	キリスト教倫理	3後	1								1	
	哲学	1前	2								1	
	文学	1前・後	2				1					
	心理学概論	1前	2								1	
	倫理学	1後	2								1	
	ジェンダー論	1前	2								1	
	生活福祉文化論	1前・後	2				1					
	レクリエーション概論	1前・後	2				1					
	音楽	1前・後	1					1				2
	健康スポーツ論	1前・後	1								1	
	健康スポーツ実践	1前・後	1								1	
	スポーツ I	1前・後	1								1	
	スポーツ II	1前・後	1								1	
	法学	1前・後	2								1	
	日本国憲法	1前・後	2								1	
	経済学	1後	2								1	
	教育学	1前・後	2								1	
	社会学	1前・後	2								1	
	現代コミュニティ論	1前・後	2								1	
	生物学	1前	2								1	
	基礎演習 I	1前	1				1	2			3	
	基礎演習 II	1後	1				1	2			3	
	日本語表現法	1前・後	2					1				
	情報処理	1前・後	1								2	
	データサイエンス入門	1後	1								1	
	キャリアデザイン	3通	1				1					
	英語 I	1前	1					1			3	
	英語 II	1後	1					1			3	
	英語 III	2前	1					1				
	英語 IV	2後	1								1	
	英語 V	3前	1					1				
	中国語	2前・後	1								1	
	外国語	1前・後	1								1	
	海外研修	1前・後	1					2				
	ブラジル文化と言語	1前・後	2								1	
	現代の国際社会	1前・後	2								1	
	文化人類学	1前	2								1	
	国際支援入門	1前	1								1	
	国際支援論	2前	1								1	
	国際支援アクティブラーニング I	2通	1				1					
	国際支援アクティブラーニング II	2通	1				1					
	地域ケア連携の基礎	1前	1					1				
	地域実践アクティブラーニング I	1後・2前	1				2					
	地域実践アクティブラーニング II	2後・3前	1				2					
	地域実践アクティブラーニング III	3後・4前	1				2					
	ボランティア論	1前	1								1	
ボランティア演習	1後	1				1						
大学間交流授業	1後	2								1		
小計(52科目)	-	-				14	14	0	1	0	47	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎領域	聖隷の理念と歴史	1後	2						1		1	
	キリスト教概論	1前	2								1	
	キリスト教人間論	1前・後	1								1	
	キリスト教の歴史	1前・後	1								1	
	キリスト教倫理	1前・後	1								1	
	哲学	1前	2								1	
	文学	1前・後	2							1		
	心理学概論	1前	2							1		
	倫理学	1後	2							1		
	ジェンダー論	1前	2								1	
	生活福祉文化論	1前・後	2				1					
	レクリエーション概論	1前・後	2				1					
	音楽	1前・後	1					1				2
	健康スポーツ論	1前・後	1								1	
	健康スポーツ実践	1前・後	1								1	
	スポーツ I	1前・後	1								1	
	スポーツ II	1前・後	1								1	
	法学	1前・後	2								1	
	日本国憲法	1前・後	2								1	
	経済学	1後	2								1	
	教育学	1前・後	2								1	
	社会学	1前・後	2								1	
	現代コミュニティ論	1前・後	2								1	
	生物学	1前	2								1	
	基礎演習 I	1前	1				1	3			3	
	基礎演習 II	1後	1				1	2			3	
	日本語表現法	1前・後	2					1				
	情報処理	1前・後	1								2	
	データサイエンス入門	1後	1								1	
	キャリアデザイン	3通	1				1					
	英語 I	1前	1					1			3	
	英語 II	1後	1					1			2	
	英語 III	2前	1					1				
	英語 IV	2後	1								1	
	英語 V	3前	1					1				
	中国語	2前・後	1								1	
	外国語	1前・後	1								1	
	海外研修	1前・後	1					1	1			
	ブラジル文化と言語	1前・後	2								1	
	現代の国際社会	1前・後	2								1	
	文化人類学	1前	2								1	
	国際支援入門	1前	1								1	
	国際支援論	2前	1								1	
	国際支援アクティブラーニング I	2通	1				1					
	国際支援アクティブラーニング II	2通	1				1					
	地域ケア連携の基礎	1前	1					1				
	地域実践アクティブラーニング I	1後・2前	1				2					
	地域実践アクティブラーニング II	2後・3前	1				2					
	地域実践アクティブラーニング III	3後・4前	1				2					
	ボランティア論	1前	1								1	
ボランティア演習	1後	1				1						
大学間交流授業	1後	2								1		
小計(52科目)	-	-				18	12	0	0	0	40	





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自	教	准	講	助	助	
	児童・家庭福祉論	2前	2								1
	社会福祉論	2前	2		1						
	子ども家庭支援論	3後	2								1
	社会的養護 I	2前	2								1
	保育者論	1後	1								1
	子ども家庭支援の心理学	1後	2								1
	子どもの保健	2前	2								2
	子どもの食と栄養	1後	2								2
	保育の計画と評価	2後	1								1
	乳児保育 I	1前	2								1
	乳児保育 II	1後	1		2						2
	子どもの健康と安全	2後	1		1						1
	社会的養護 II	2後	1								1
	子育て支援	3後	1								1
	保育実習指導 I	2後-3前	2		4	1		1			
	保育実習指導 II	3後	1		2	1		1			
	保育実習指導 III	3後	1		1						
	保育実習 I A	2後	2		4	2		1			
	保育実習 I B	3前	2		5	2		1			
	保育実習 II	3後	2		4	2		1			
	保育実習 III	3後	2		5	2		1			
	保育実践演習	4後	2		1						1
	ソーシャルワーク演習	1後	1		1						
	アダプテッド・スポーツ	1後	2		1						
	国際保健医療福祉論	1後	1								1
	国際コミュニケーション演習	3前	1								1
	英語プレゼンテーション演習	4通	1								1
	国際福祉実習 I	3後	2								1
	国際福祉実習 II	4後	2								1
	インターンシップ I	2前	2			1					
	インターンシップ II	2後	2			1					
	公認心理師の職責	1後	2								1
	臨床心理学概論	2後	2		1						
	心理学研究法	3後	2								1
	心理学統計法	3後	2								1
	心理学実験 I	3後	2								1
	心理学実験 II	3後	2								1
	知覚・認知心理学	2前	2								1
	学習・言語心理学	2前	2								1
	感情・人格心理学	2後	2								1
	神経・生理心理学	2前	2								1
	社会・集団・家族心理学	2前	2								1
	障害者・障害児心理学	2後	2								1
	心理的アセスメント	2後	2								1
	心理学的支援法	2前	2								1
	健康・医療心理学	2前	2								1
	福祉心理学	4通	2								1
	司法・犯罪心理学	2後	2								1
	産業・組織心理学	2前	2								1
	人体の構造と機能及び疾病	1後	2								2
	精神疾患とその治療 I	2後	2								1
	関係行政論	4後	2								1
	心理演習	3前	2								1
	心理実習	3前	2								1
	小計(123科目)	-	-		90	38	0	22	0		78
	合計(180科目)	-	-		106	52	0	24	0		128
卒業要件及び履修方法											
学則で定められた修業年限以上の期間在学し、卒業認定に必要な124単位以上を修得すること。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自	教	准	講	助	助	
	児童・家庭福祉論	2前	2								1
	社会福祉論	2前	2		1						
	子ども家庭支援論	3後	2								1
	社会的養護 I	2前	2								1
	保育者論	1後	1								1
	子ども家庭支援の心理学	1後	2								1
	子どもの保健	2前	2								2
	子どもの食と栄養	1後	2								2
	保育の計画と評価	2後	1								1
	乳児保育 I	1前	2								1
	乳児保育 II	1後	1		2					1	2
	子どもの健康と安全	2後	1		1						1
	社会的養護 II	2後	1								1
	子育て支援	3後	1								1
	保育実習指導 I	2後-3前	2		4	1		1			
	保育実習指導 II	3後	1		2	1		1			
	保育実習指導 III	3後	1		1						
	保育実習 I A	2後	2		4	2		1			
	保育実習 I B	3前	2		5	2		1			
	保育実習 II	3後	2		4	2		1			
	保育実習 III	3後	2		5	2		1			
	保育実践演習	4後	2		1						1
	ソーシャルワーク演習	1後	1		1						
	アダプテッド・スポーツ	1後	2		1						
	国際保健医療福祉論	1後	1								1
	国際コミュニケーション演習	3前	1								1
	英語プレゼンテーション演習	4通	1								1
	国際福祉実習 I	3後	2								1
	国際福祉実習 II	4後	2								1
	インターンシップ I	2前	2			1					
	インターンシップ II	2後	2			1					
	公認心理師の職責	1後	2								1
	臨床心理学概論	2後	2								1
	心理学研究法	3後	2								1
	心理学統計法	3後	2								1
	心理学実験 I	3後	2								1
	心理学実験 II	3後	2								1
	知覚・認知心理学	2前	2								1
	学習・言語心理学	2前	2								1
	感情・人格心理学	2後	2								1
	神経・生理心理学	2前	2								1
	社会・集団・家族心理学	2前	2								1
	障害者・障害児心理学	2後	2								1
	心理的アセスメント	2後	2								1
	心理学的支援法	2前	2								1
	健康・医療心理学	2前	2								1
	福祉心理学	4通	2								1
	司法・犯罪心理学	2後	2								1
	産業・組織心理学	2前	2								1
	人体の構造と機能及び疾病	1後	2								2
	精神疾患とその治療 I	2後	2								1
	関係行政論	4後	2								1
	心理演習	3前	2								1
	心理実習	3前	2								1
	小計(123科目)	-	-		95	39	0	23	0		73
	合計(180科目)	-	-		115	52	0	24	0		114
卒業要件及び履修方法											
学則で定められた修業年限以上の期間在学し、卒業認定に必要な124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和5年度】**

- ・キリスト教人間論、キリスト教の歴史、キリスト教倫理の開講期を変更
- ・担当教員の変更により、「聖隷の理念と歴史」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により（専任教員として採用）、「心理学概論」「発達心理学」「教育心理学(教育・学校心理学)」「公認心理師の職責」「心理学研究法」「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」「健康・医療心理学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の変更により「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・担当教員の職位の変更及び担当教員の変更により「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」、「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更
- ・担当教員の職位の変更により「英語Ⅲ」「英語Ⅴ」「こどもと英語」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・担当教員の職位の変更により「海外研修」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「教授0」から「教授1」に変更
- ・担当教員の職位の変更により「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「教授6」から「教授7」に変更
- ・担当教員の職位の変更により「国際教育実習Ⅰ」「国際教育実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「教授1」から「教授2」に変更
- ・クラス編成の考え方の変更により（社会福祉学部・国際教育学部合同から、国際教育学部単独に変更）、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任0」、「准教授2」から「准教授3」に変更
- ・クラス編成の考え方の変更により（社会福祉学部・国際教育学部合同から、国際教育学部単独に変更）、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任0」に変更
- ・担当教員の変更により「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・担当教員の変更により「教育原理」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
- ・担当教員の追加により「乳児保育Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・担当教員の変更により「人体の構造と機能及び疾病」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	164 科目	0 科目	180 科目	16 科目 [ 0 ]	164 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	180 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	キリスト教人間論	1	1前・後	一般	選択	隔年開講科目の開講順変更
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

キリスト教人間論、キリスト教の歴史、キリスト教倫理は各科目を1年ごと順番に開講しており、令和5年度は、キリスト教人間論に替えてキリスト教の歴史を開講することとした。キリスト教人間論は令和7年に春・秋両 Semester で開講することとし、学生が希望に応じ履修することは可能であり、履修行動に影響はないと考える。各科目の開講の順番については履修に関するオリエンテーションで説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{180} = \boxed{0.55} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<b>■校地敷地</b> 聖隷クリスティー大学介護福祉専門学校(収容定員80名)と共用。校地面積基準規定なし。 <b>■運動場用地</b> 27,002㎡は聖隷クリスティー中・高等学校(収容定員：中学210名、高校382名)と共用。 <b>■その他のうち第1駐車場</b> 6,292㎡は聖隷クリスティー中・高等学校、聖隷クリスティー大学介護福祉専門学校と共用。第2駐車場5,479㎡は聖隷クリスティー大学介護福祉専門学校と共用。					
	校舎敷地	0㎡	26,130㎡	0㎡	26,130㎡						
	運動場用地	0㎡	27,002㎡	24,906㎡	51,908㎡						
	小 計	0㎡	53,132㎡	24,906㎡	78,038㎡						
	そ の 他	0㎡	11,771㎡	10,755㎡	22,526㎡						
	合 計	0㎡	64,903㎡	35,661㎡	100,564㎡						
(2) 校 舎	専 用	19,328㎡	7,460㎡	574㎡	27,362㎡	聖隷クリスティー大学介護福祉専門学校(収容定員80名)と共用。校舎面積基準380㎡。					
	( 19,328㎡)	( 7,460㎡)	( 574㎡)	( 27,362㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	24室	演 習 室	45室	実験実習室	40室	情報処理学習施設	1室	語学学習施設	0室	大学全体 (補助職員 0人)
							(補助職員 0人)		(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		令和5年4月 専任教員1名を新規採用のため(5)					
	国際教育学部 こども教育学科			12 11							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数			
	国際教育学部 こども教育学科	133,916 [10,337] (123,258 [9,918])	4,174 [396] (4,093 [402])	1,800 [110] (1,664 [106])	4,217 (4,112)	0 ( 0)	0 ( 0)				
	計	133,916 [10,337] (123,258 [9,918])	4,174 [396] (4,093 [402])	1,800 [110] (1,664 [106])	4,217 (4,112)	0 ( 0)	0 ( 0)				
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	1,311㎡		244		115,075						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体				
	1,276㎡		-								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体		
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,200千円			
		共同研究費等	2,510千円	2,510千円	設備購入費	5,000千円	6,000千円	5,500千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,350千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入、資産運用収入等を充てる。									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	聖隷クリストファー大学						平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
国際教育学部	4	50	-	200	-	1.04	-	1.04	-	-	令和5	-		
こども教育学科	4	50	-	200	学士(教育学)	1.04	-	1.04	-	-	令和5	静岡県浜松市北区三方原町3453		
看護学部	4	150	-	600	-	1.05	-	1.04	1.03	-	平成4	-		
看護学科	4	150	-	600	学士(看護学)	1.05	-	1.04	1.03	-	平成4	静岡県浜松市北区三方原町3453		
社会福祉学部	4	60	3年次 <sub>5</sub>	250	-	0.83	-	0.79	-	-	平成14	-	令和5年3月31日介護福祉学科廃止	
社会福祉学科	4	60	3年次 <sub>5</sub>	250	学士(社会福祉学)	0.79	-	0.74	-	-	平成14	静岡県浜松市北区三方原町3453	令和5年度入学定員減(△5)編入学定員減(△10)	
こども教育福祉学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	令和5年度学生募集停止	
リハビリテーション学部	4	95	-	380	-	1.08	-	1.08	1.06	-	平成16	-		
理学療法学科	4	40	-	160	学士(理学療法学)	1.19	-	1.20	1.16	-	平成23	静岡県浜松市北区三方原町3453		
作業療法学科	4	30	-	120	学士(理学療法学)	1.02	-	1.00	-	-	平成23	同上		
言語聴覚学科	4	25	-	100	学士(理学療法学)	0.99	-	0.99	-	-	平成23	同上		
大学全体	4	355	3年次 <sub>5</sub>	1430	-	-	-	-	-	-	-	-		

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



## 5 教員組織の状況

<国際教育学部 こども教育学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
	専 教授 (学部 長)	太田 雅子  <令和5年4月> Master of Arts Education with Distinction(米国)※
		国際支援アクティブラーニングⅠ キリスト教教育 教育課程論 幼児理解の理論と方法 教育実習指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習(幼・小) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際バカレア教育概論 国際バカレア教育総合演習 国際教育実習Ⅰ 国際教育実習Ⅱ 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実践演習

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
	専 教授 (学部 長)	太田 雅子  <令和5年4月> Master of Arts Education with Distinction(米国)※
		国際支援アクティブラーニングⅠ キリスト教教育 教育課程論 幼児理解の理論と方法 教育実習指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習(幼・小) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際バカレア教育概論 国際バカレア教育総合演習 国際教育実習Ⅰ 国際教育実習Ⅱ 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部 長補 佐)	鈴木 光男  ＜令和5年4月＞ 修士(学校教育学)
		国際支援アクティブ・ラーニングⅡ 地域実践アクティブ・ラーニングⅠ 地域実践アクティブ・ラーニングⅡ 地域実践アクティブ・ラーニングⅢ 特別活動及び総合的な学習の時 間の指導法 教育実習指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習(幼・小) 図画工作科指導法 図画工作 こどもと表現 保育内容(表現) 小学校インターシップⅠ 小学校インターシップⅡ 小学校インターシップⅢ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際バカ加ワ教育課程論 国際バカ加ワ教育総合演習 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ
専	教授	坂本 道子  ＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活福祉文化論 ボランティア演習 地域ケア連携演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 社会福祉論 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅲ 保育実習ⅠB 保育実習Ⅲ ソーシャルワーク演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部 長補 佐)	鈴木 光男  ＜令和5年4月＞ 修士(学校教育学)
		国際支援アクティブ・ラーニングⅡ 地域実践アクティブ・ラーニングⅠ 地域実践アクティブ・ラーニングⅡ 地域実践アクティブ・ラーニングⅢ 特別活動及び総合的な学習の時 間の指導法 教育実習指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習(幼・小) 図画工作科指導法 図画工作 こどもと表現 保育内容(表現) 小学校インターシップⅠ 小学校インターシップⅡ 小学校インターシップⅢ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際バカ加ワ教育課程論 国際バカ加ワ教育総合演習 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ
専	教授	坂本 道子  ＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活福祉文化論 ボランティア演習 地域ケア連携演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 社会福祉論 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅲ 保育実習ⅠB 保育実習Ⅲ ソーシャルワーク演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
	専 教授	飯田 真也 ＜令和5年4月＞ 学術博士
		教職概論 教育制度論 教育方法・技術論 教育実習指導 教育実習（幼・小） 教職実践演習（幼・小） 算数科指導法 生活科指導法 算数 理科 生活 小学校インターシップⅠ 小学校インターシップⅡ 小学校インターシップⅢ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ
専	専 教授	藤田 美枝子 ＜令和5年4月＞ 博士（臨床心理学）
		教育相談 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 臨床心理学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
	専 教授	飯田 真也 ＜令和5年4月＞ 学術博士
		教職概論 教育制度論 教育方法・技術論 教育実習指導 教育実習（幼・小） 教職実践演習（幼・小） 算数科指導法 生活科指導法 算数 理科 生活 小学校インターシップⅠ 小学校インターシップⅡ 小学校インターシップⅢ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ
専	専 教授	藤田 美枝子 ＜令和5年4月＞ 博士（臨床心理学）
		教育相談 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 臨床心理学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	教授	和久田 佳代 ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		レクリエーション概論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ キャリアデザイン 地域実践アクティブラーニングⅠ 地域実践アクティブラーニングⅡ 地域実践アクティブラーニングⅢ 教育実習（幼・小） 体育科指導法 体育 こどもと健康 保育内容（健康） 保育内容（表現） 発達支援総論 発達支援演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 乳児保育Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ アダプテッド・スポーツ
専	准教授	二宮 貴之 ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		音楽 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 海外研修 教育実習指導 教育実習（幼・小） 音楽科指導法 こどもと音楽 こどもの歌と伴奏 器楽 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際ハカリア教育総合演習 国際教育実習Ⅰ 国際教育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	教授	和久田 佳代 ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		レクリエーション概論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ キャリアデザイン 地域実践アクティブラーニングⅠ 地域実践アクティブラーニングⅡ 地域実践アクティブラーニングⅢ 教育実習（幼・小） 体育科指導法 体育 こどもと健康 保育内容（健康） 保育内容（表現） 発達支援総論 発達支援演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 乳児保育Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ アダプテッド・スポーツ
専	准教授	二宮 貴之 ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		音楽 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 海外研修 教育実習指導 教育実習（幼・小） 音楽科指導法 こどもと音楽 こどもの歌と伴奏 器楽 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際ハカリア教育総合演習 国際教育実習Ⅰ 国際教育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	准教授	Patterson Donald Glen <令和5年4月> Master of Arts in Japanese Language and Society (英国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅴ 海外研修 こどもと英語 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際教育実習Ⅰ 国際教育実習Ⅱ
専	准教授	福重 浩之 <令和5年4月> 修士(教育学)
		文学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 日本語表現法 地域ケア連携の基礎 教育実習指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習(幼・小) 国語科指導法 国語 小学校インターシッ <sup>o</sup> Ⅰ 小学校インターシッ <sup>o</sup> Ⅱ 小学校インターシッ <sup>o</sup> Ⅲ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ インターシッ <sup>o</sup> Ⅰ インターシッ <sup>o</sup> Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	教授	Patterson Donald Glen <令和5年4月> Master of Arts in Japanese Language and Society (英国)
		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅴ 海外研修 こどもと英語 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際教育実習Ⅰ 国際教育実習Ⅱ
専	准教授	福重 浩之 <令和5年4月> 修士(教育学)
		文学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 日本語表現法 地域ケア連携の基礎 教育実習指導 教育実習(幼・小) 教職実践演習(幼・小) 国語科指導法 国語 小学校インターシッ <sup>o</sup> Ⅰ 小学校インターシッ <sup>o</sup> Ⅱ 小学校インターシッ <sup>o</sup> Ⅲ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ インターシッ <sup>o</sup> Ⅰ インターシッ <sup>o</sup> Ⅱ
専	准教授	内山 敏 <令和5年4月> 博士(小児発達学)
		聖隷の理念と歴史 心理学概論 発達心理学 教育心理学(教育・学校心理学) 公認心理師の職責 心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 健康・医療心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	助教	Morten J. Vatn ＜令和5年4月＞ 修士(音楽)
		国際バカリア教育入門 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際バカリア教育概論 国際バカリア教育課程論 国際バカリア教育方法論 国際バカリア教育学習アセスメント 国際バカリア教育総合演習
専	助教	杉山 沙旺美 ＜令和5年4月＞ 修士(社会科学)
		聖隷の理念と歴史 教育実習指導 教育実習(幼・小) こどもと人間関係 こどもと環境 保育内容(人間関係) 保育内容(環境) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実践演習
兼任	教授	永井 英司 ＜令和5年4月＞ 神学修士
		キリスト教概論 キリスト教人間論 キリスト教の歴史 キリスト教倫理
兼任	教授	川向 雅弘 ＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)※
		国際福祉実習Ⅰ 国際福祉実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
専	助教	Morten J. Vatn ＜令和5年4月＞ 修士(音楽)
		国際バカリア教育入門 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 国際バカリア教育概論 国際バカリア教育課程論 国際バカリア教育方法論 国際バカリア教育学習アセスメント 国際バカリア教育総合演習
専	助教	杉山 沙旺美 ＜令和5年4月＞ 修士(社会科学)
		教育実習指導 教育実習(幼・小) こどもと人間関係 こどもと環境 保育内容(人間関係) 保育内容(環境) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実践演習 <b>乳児保育Ⅱ</b>
兼任	教授	永井 英司 ＜令和5年4月＞ 神学修士
		キリスト教概論 キリスト教人間論 キリスト教の歴史 キリスト教倫理
兼任	教授	川向 雅弘 ＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)※
		国際福祉実習Ⅰ 国際福祉実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福田 俊子
		＜令和5年4月＞ 博士(人間福祉)
		ボランティア論
兼任	教授	大場 義貴
		＜令和5年4月＞ 文学士※
		福祉心理学 司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 関係行政論
兼任	教授	入江 拓
		＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		聖隷の理念と歴史
兼任	教授	宮谷 恵
		＜令和5年4月＞ 博士(看護学)
		子どもの保健
兼任	教授	市江 和子
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		子どもの保健
兼任	教授	熊澤 武志
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		生物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	福田 俊子
		＜令和5年4月＞ 博士(人間福祉)
		ボランティア論
兼任	教授	大場 義貴
		＜令和5年4月＞ 文学士※
		福祉心理学 司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 関係行政論
兼任	教授	入江 拓
		＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		聖隷の理念と歴史
兼任	教授	宮谷 恵
		＜令和5年4月＞ 博士(看護学)
		子どもの保健
兼任	教授	市江 和子
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		子どもの保健
兼任	教授	熊澤 武志
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		生物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	安田 智洋
		＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		健康スポーツ論 健康スポーツ実践 スポーツ I
兼任	教授	矢倉 千昭
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		外国語 大学間交流授業
兼任	教授	柴本 勇
		＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		国際支援入門
兼任	教授	伊藤 信寿
		＜令和5年4月＞ 博士(学校教育学)
		特別支援教育
兼任	教授	津森 伸一
		＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		情報処理 デザイン入門 教育方法・技術論
兼任	准教授	泉谷(石渡) 朋子
		＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		基礎演習 I 基礎演習 II 児童・家庭福祉論 子ども家庭支援論 社会的養護 I 社会的養護 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	安田 智洋
		＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		健康スポーツ論 健康スポーツ実践 スポーツ I
兼任	教授	矢倉 千昭
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		外国語 大学間交流授業
兼任	教授	柴本 勇
		＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		国際支援入門
兼任	教授	伊藤 信寿
		＜令和5年4月＞ 博士(学校教育学)
		特別支援教育
兼任	教授	津森 伸一
		＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		情報処理 デザイン入門 教育方法・技術論
兼任	准教授	泉谷(石渡) 朋子
		＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		児童・家庭福祉論 子ども家庭支援論 社会的養護 I 社会的養護 II



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
兼任	准教授	篠崎 良勝 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ
兼任	准教授	黒野 智子 ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		乳児保育Ⅱ
兼任	准教授	根地嶋 誠 ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)
		国際コミュニケーション演習 英語プレゼンテーション演習
兼任	准教授	富澤 涼子 ＜令和5年4月＞ 博士(作業療法学)
		国際保健医療福祉論
兼任	講師	隆 朋也 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		情報処理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		担当授業科目名
兼任	准教授	黒野 智子 ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		乳児保育Ⅱ
兼任	准教授	根地嶋 誠 ＜令和5年4月＞ 博士(リハビリテーション科学)
		国際コミュニケーション演習 英語プレゼンテーション演習 <b>国際保健医療福祉論</b>
兼任	准教授	<b>Kuramoto Christine Dianne</b> <b>＜令和5年4月＞</b> <b>Master's Degree in Teaching</b> <b>English as a Foreign</b> <b>Language(英国)</b>
		<b>英語Ⅰ</b> <b>英語Ⅱ</b>
兼任	講師	隆 朋也 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		情報処理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	小畑 美穂
		＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ
兼任	助教	太田 知実
		＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育学 教育制度論 教育課程論
兼任	助教	室加(神谷) 千佳
		＜令和5年4月＞ 博士(看護学)
		乳児保育Ⅱ
兼任	助教	渥美 陽子
		＜令和5年4月＞ 修士(英語教授法) 修士(理学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅳ
兼任	講師	山下 秀智
		＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		哲学 倫理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	太田 知実
		＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育学 教育制度論 教育課程論
兼任	助教	室加(神谷) 千佳
		＜令和5年4月＞ 博士(看護学)
		乳児保育Ⅱ
兼任	助教	渥美 陽子
		＜令和5年4月＞ 修士(英語教授法) 修士(理学)
		英語Ⅱ 英語Ⅳ
兼任	助教	水野 尚美
		＜令和5年10月＞ 修士(臨床教育学)
		人体の構造と機能及び疾病

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	須藤 八千代 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		ジェンダー論
兼任	講師	本多 厚美 <令和5年4月> 芸術学士
		音楽
兼任	講師	大村 千春 <令和5年4月> 学士(福祉経営学)
		スポーツⅡ
兼任	講師	稲葉 彬 <令和5年4月> 法学修士※
		法学 日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	長田 怜 <令和5年4月> 博士(文学)
		哲学 倫理学
兼任	講師	須藤 八千代 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		ジェンダー論
兼任	講師	本多 厚美 <令和5年4月> 芸術学士
		音楽
兼任	講師	大村 千春 <令和5年4月> 学士(福祉経営学)
		スポーツⅡ
兼任	講師	山岸 敬子 <令和5年10月> 法学博士
		日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
兼任	講師	白春 駿 ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
兼任	講師	馬場 孝 ＜令和5年4月＞ 国際学修士
		社会学 現代の国際社会
兼任	講師	下澤 嶽 ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)※
		現代コミュニティ論 国際支援論
兼任	講師	土江(中澤) 綾 ＜令和5年4月＞ Master of Education in English as a Second Language(米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
兼任	講師	伊 夢 瑛 ＜令和5年4月＞ Master of Arts(英国)
		法学 日本国憲法
兼任	講師	白春 駿 ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
兼任	講師	馬場 孝 ＜令和5年4月＞ 国際学修士
		社会学 現代の国際社会
兼任	講師	下澤 嶽 ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)※
		現代コミュニティ論 国際支援論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
兼任	講師	Dinicola Anne Elizabeth ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts degree (米国)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	方健 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		中国語
兼任	講師	高阪 香津美 ＜令和5年4月＞ 博士(言語文化学)
		ブラジル文化と言語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
兼任	講師	<b>William Sean Gibb</b> ＜令和5年4月＞ <b>Bachelor of Political Science and English(カナダ)</b>
		<b>英語 I</b>
兼任	講師	Dinicola Anne Elizabeth ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts degree (米国)
		英語 I
兼任	講師	方健 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		中国語
兼任	講師	<b>Akioma Miriam</b> ＜令和5年4月＞ <b>Master of Arts in Applied Linguistics(マカオ)</b>
		<b>ブラジル文化と言語</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 弘明
		＜令和5年4月＞ 理学博士
		文化人類学
兼任	講師	内崎 哲郎
		＜令和5年4月＞ 文学士
		教育原理 道徳理論と指導法 生徒・進路指導論
兼任	講師	石橋 哲成
		＜令和5年4月＞ 文学修士※
		教育原理
兼任	講師	大須賀 優子
		＜令和5年4月＞ 博士(小児発達学)
		特別支援教育
兼任	講師	仲 義之
		＜令和5年4月＞ 修士(神学)
		道徳理論と指導法
兼任	講師	中村 洋子
		＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		教育相談 子ども家庭支援の心理学 知覚・認知心理学 心理学的支援法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 弘明
		＜令和5年4月＞ 理学博士
		文化人類学
兼任	講師	内崎 哲郎
		＜令和5年4月＞ 文学士
		教育原理 道徳理論と指導法 生徒・進路指導論
兼任	講師	大須賀 優子
		＜令和5年4月＞ 博士(小児発達学)
		特別支援教育
兼任	講師	仲 義之
		＜令和5年4月＞ 修士(神学)
		道徳理論と指導法
兼任	講師	中村 洋子
		＜令和5年4月＞ 博士(社会福祉学)
		教育相談 子ども家庭支援の心理学 知覚・認知心理学 心理学的支援法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹本 石樹
		＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		情報活用指導法 理科指導法 プログラミング教育Ⅰ プログラミング教育Ⅱ
兼任	講師	中村 俊哉
		＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		社会科指導法 社会
兼任	講師	小清水 貴子
		＜令和5年4月＞ 修士(家政学)※
		家庭科指導法 家庭
兼任	講師	池田 周
		＜令和5年4月＞ Ph.D. in English Language Teaching and Applied Linguistics(英国)
		英語指導法
兼任	講師	古橋 啓子
		＜令和5年4月＞ 食物栄養学修士
		子どもの食と栄養
兼任	講師	花家 彩子
		＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		こどもと言葉

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	竹本 石樹
		＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		情報活用指導法 理科指導法 プログラミング教育Ⅰ プログラミング教育Ⅱ
兼任	講師	中村 俊哉
		＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		社会科指導法 社会
兼任	講師	小清水 貴子
		＜令和5年4月＞ 修士(家政学)※
		家庭科指導法 家庭
兼任	講師	池田 周
		＜令和5年4月＞ Ph.D. in English Language Teaching and Applied Linguistics(英国)
		英語指導法
兼任	講師	古橋 啓子
		＜令和5年4月＞ 食物栄養学修士
		子どもの食と栄養
兼任	講師	花家 彩子
		＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		こどもと言葉

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤井 純子
		＜令和5年4月＞ 芸術学士
		こどもの歌と伴奏 器楽
兼任	講師	金山 智彦
		＜令和5年4月＞ 教養学士
		音楽 こどもの歌と伴奏 器楽
兼任	講師	笹瀬 一磨
		＜令和5年4月＞ 芸術学修士
		こどもの歌と伴奏 器楽
兼任	講師	山内 博子
		＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)
		保育内容総論 保育原理 子どもの健康と安全
兼任	講師	松下 恵美子
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		障害児保育 社会・集団・家族心理学
兼任	講師	江里口 歡人
		＜令和5年4月＞ 教育学博士
		国際バカリア教育概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤井 純子
		＜令和5年4月＞ 芸術学士
		こどもの歌と伴奏 器楽
兼任	講師	金山 智彦
		＜令和5年4月＞ 教養学士
		音楽 こどもの歌と伴奏 器楽
兼任	講師	笹瀬 一磨
		＜令和5年4月＞ 芸術学修士
		こどもの歌と伴奏 器楽
兼任	講師	山内 博子
		＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)
		保育内容総論 保育原理 子どもの健康と安全
兼任	講師	松下 恵美子
		＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		障害児保育 社会・集団・家族心理学
兼任	講師	江里口 歡人
		＜令和5年4月＞ 教育学博士
		国際バカリア教育概論



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇都宮 裕章
		＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		多文化共生と教育
兼任	講師	池田 信子
		＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)
		多様な子どもの理解 多様な子どもの支援 子育て支援
兼任	講師	鈴木 まき子
		＜令和5年4月＞ 学士(子ども心理学)
		保育内容（言葉） 保育者論 保育の計画と評価 保育実践演習
兼任	講師	金谷 節子
		＜令和5年4月＞ 専修学校
		子どもの食と栄養
兼任	講師	小楠 美貴
		＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)
		乳児保育 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇都宮 裕章
		＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		多文化共生と教育
兼任	講師	池田 信子
		＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)
		多様な子どもの理解 多様な子どもの支援 子育て支援
兼任	講師	鈴木 まき子
		＜令和5年4月＞ 学士(子ども心理学)
		保育内容（言葉） 保育者論 保育の計画と評価 保育実践演習
兼任	講師	金谷 節子
		＜令和5年4月＞ 専修学校
		子どもの食と栄養
兼任	講師	小楠 美貴
		＜令和5年4月＞ 修士(社会福祉学)
		乳児保育 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		担当授業科目名
兼任	講師	内山 敏 ＜令和5年4月＞ 博士(小児発達学)
		心理学概論 発達心理学 教育心理学(教育・学校心理学) 公認心理師の職責 心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 健康・医療心理学
兼任	講師	高木 邦子 ＜令和7年10月＞ 博士(教育心理学)
		心理学統計法
兼任	講師	大場 いずみ ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		学習・言語心理学 心理的アセスメント
兼任	講師	角谷 基文 ＜令和6年10月＞ 博士(理学)
		感情・人格心理学
兼任	講師	岩淵 俊樹 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		神経・生理心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 邦子 ＜令和7年10月＞ 博士(教育心理学)
		心理学統計法
兼任	講師	大場 いずみ ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		学習・言語心理学 心理的アセスメント
兼任	講師	角谷 基文 ＜令和6年10月＞ 博士(理学)
		感情・人格心理学
兼任	講師	岩淵 俊樹 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		神経・生理心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
兼任	講師	猪原 裕子 ＜令和6年10月＞ 小児発達学博士
		障害者・障害児心理学
兼任	講師	鈴木 千佳代 ＜令和5年10月＞ 学士(教養)
		人体の構造と機能及び疾病
兼任	講師	西村 克彦 ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		精神疾患とその治療 I
兼任	講師	川瀬 正裕 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		心理演習 心理実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		担当授業科目名
兼任	講師	猪原 裕子 ＜令和6年10月＞ 小児発達学博士
		障害者・障害児心理学
兼任	講師	齋藤 直志 ＜令和5年10月＞ 修士(公共政策)
		人体の構造と機能及び疾病
兼任	講師	西村 克彦 ＜令和6年10月＞ 博士(医学)
		精神疾患とその治療 I
兼任	講師	川瀬 正裕 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		心理演習 心理実習

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・内山敏准教授就任
- ・Patterson Donald Glen 准教授から教授に昇任
- ・内山敏准教授就任につき、杉山沙旺美助教の担当科目から聖隷の理念と歴史を削除
- ・山下秀智兼任講師の退職につき、長田怜兼任講師が就任
- ・稲葉彬兼任講師の退職につき、伊夢瑛兼任講師、山岸敬子兼任講師が就任
- ・クラス編成見直しにつき、泉谷朋子、篠崎良勝、小畑美穂兼任講師の担当科目から「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」を削除
- ・土江綾兼任講師の退職につき、Kuramoto Christine Dianne兼任講師、William Sean Gibb兼任講師が就任
- ・クラス編成見直しにつき、Patterson Donald Glen教授および遅美陽子兼任講師の担当科目から英語Ⅰを削除
- ・クラス編成見直しにつき、Dinicola Anne Elizabeth兼任講師の担当科目から英語Ⅱを削除
- ・高阪香津美兼任講師の退職につき、Akioma Miriam兼任講師が就任
- ・石橋哲成兼任講師が退職につき、内崎哲郎兼任講師が「教育原理」を単独で担当
- ・教育内容充実のため杉山沙旺美助教の担当科目に「乳児保育Ⅱ」を追加
- ・富澤涼子兼任講師の退職につき、根地嶋誠兼任講師の担当科目に「国際保健医療福祉論」を追加
- ・鈴木千佳兼任講師の退職につき、水野尚美兼任講師、斎藤直志兼任講師が就任

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	3	0	2	11	0	7	3	0	2	12	0
(7)	(3)	(0)	(2)	(12)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	3	0	2	12	0	7	3	0	3	13	0
[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	5
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
合計 (D)							後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
合計 (F)							後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{11} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和4年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	【届出】 遵守事項 開設初年度（令和5年度）は、届出書の計画通りの教員配置に加え、4月に年齢50代の教員1名を採用し将来に備えている。（5）	履行中 長期的に安定した教員組織となるよう、今後の教員採用計画において年齢構成をより重視していく。令和6年4月に年齢40代及び50代の教員各1名の採用を計画しており、完成年度における退職年齢を超える教員の割合を改善する。（5）

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <国際教育学部 こども教育学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>学則（教育課程表）上、「心理学的支援法」「心理的アセスメント」「教育相談」は認定心理士指定科目ではない。</p>	<p>日本心理学会による認定心理士のカリキュラム確認において科目の追加を求められたため、対象科目として「心理学的支援法」「心理的アセスメント」「教育相談」を追加した。教育課程表（資格取得に関する授業科目単位数（再掲）の欄）を変更し、当3科目を認定心理士指定科目とした。学則の変更については令和5年3月29日付で文部科学省大学設置室に届出済。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教員の資質の維持向上の方策に関わる委員会としては、全学FD委員会、研究推進委員会、ハラスメント防止委員会、情報化推進委員会、学生支援協議会を設置している。各委員会が規程に定められた所掌事項により、FDの推進、研究活動の活性化、ハラスメント防止のための研修・啓発活動、ICTを利用した教育方法（講義や実習）の推進、学生相談に関する活動を担っている。</p> <p>別紙1 聖隷クリストファー大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程  別紙2 聖隷クリストファー大学研究推進委員会規程  別紙3 聖隷クリストファー大学ハラスメント防止委員会規程  別紙4 情報化推進委員会規程  別紙5 学生支援協議会規程</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>全学FD委員会、情報化推進委員会、学生支援協議会は月1回、研究推進委員会は隔月、ハラスメント防止委員会は年2回開催している。各委員会の構成員は規程により定められており、各学部の教員および関連部署の事務職員が出席している。委員長（教員代表）は学長が指名した教員あるいは部長職の教員が担い、研究推進委員会は学長が委員長となり、学部長、研究科長も構成員となっている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>全学FD委員会（2023年4月第1回）</p> <p>1. 2023年度事業計画重点課題の確認と担当  2. 全学FD研修会について  令和4年度は他に以下について審議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教学マネジメントに関わる自己点検・評価、事業計画の評価について</li> <li>・ 授業評価の実施、見直しについて</li> <li>・ 全学FDスタッフ会議の開催について（学生への意見聴取）</li> <li>・ 予算申請について</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学FD研修（2回）</li> <li>・ 研究に関するコンプライアンス研修会・研究倫理に関する研修会</li> <li>・ 情報セキュリティ講習会</li> <li>・ 科研費公募のための学内説明会</li> <li>・ ハラスメント防止のための研修会</li> <li>・ 教職員対象学生相談研修会</li> <li>・ 新任アドバイザー対象学生相談に関する意見交換会</li> <li>・ ピアレビュー</li> </ul>
---

b 実施方法

令和4年度は各委員会で検討の上、Zoomによるオンライン受講（ハイブリッド含む）、WebClassによるe-Learning講習、録画配信など、主に非対面の方法で行われた。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FD研修（2回）

第1回6月15日テーマ「1. インストラクショナルデザインの理論から見た授業評価アンケート内容に関する一考察／2. 授業のPDCAサイクルを踏まえたティーチングポートフォリオについて」Zoomと対面のハイブリッド開催

第2回9月21日テーマ「建学の精神に基づく教育とは 1. 建学の精神に基づく教育のありよう～対人援助職の教育における人間観から～ 2. 聖隷看護基盤実習の創設と学生・教員が学ばされたこと」Zoomと対面のハイブリッド開催

- ・研究に関するコンプライアンス研修会・研究倫理に関する研修会

オンライン受講（Zoom）令和4年5月18日、令和5年5月17日 教員は必ず全員受講（後日動画視聴含む）

- ・情報セキュリティ講習会 e-Learning講習（WebClass）7月1日～8月31日のうちに受講60分程度
- ・科研費公募のための学内説明会 録画配信
- ・ハラスメント防止のための研修会 動画配信（WebClass）8月26日～9月12日のうちに受講60分程度
- ・教職員対象学生相談研修会 オンライン受講（Zoom）8月26日
- ・新任アドバイザー対象学生相談に関する意見交換会 オンライン受講（Zoom）8月26日

※以上の研修会は教員全員参加（後日動画視聴含む）

- ・ピアレビュー 令和4年度公開者数131名、参加者数158名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各研修で取り上げた内容やピアレビューの実施、及び下記授業評価アンケート結果を受けて、各教員が授業改善や教育技術の向上に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価は、評価項目に従いLMSシステムWebClassを用いて春・秋セメスターの授業終了2回前から最終回までに実施している。授業評価の項目決定・実施・集計及び内容分析は、全学FD委員会が実施・管理し、授業評価の分析結果は、各学部の教授会に報告され、各教員が確認、授業改善に活用する。

また、学生は、授業評価実施の協力及び授業評価の結果を踏まえた授業改善に対する提言に関することの協議を全学学生FDスタッフ会議で行い、全学FD委員会・教務部の教員が意見を聞いている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケート結果は、各質問項目の回答を点数化して算出した評価値を共通科目・学部科目に分けて平均化し、全学FD委員会が学部等の授業に対する学生の評価としてまとめ、ホームページで公表している。また、質問項目別に科目ごとの回答配分表を作成し、ホームページで公表している。各科目の評価については、担当教員が内容を確認し、「評価結果に対する所感」及び「授業改善・向上に向けて」に関するコメントをWebClassのタイムラインに入力し、学生はそれを閲覧できるようになっている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学はキリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、広い知識と深い専門の学芸を教授・研究し、保健医療福祉分野の看護、リハビリテーション、福祉及び教育・保育の専門職業人を育成して、人類の健康と福祉と教育・保育に寄与することを目的としている。

国際教育学部こども教育学科は、大学の目的に沿って建学の精神を土台に、こどもに関わる国際水準の教育・保育の専門性と国際的な視点に立って多様な人々が支え合い、学び合い、育ち合う地域共生社会を実現できる実践力を兼ね備えたこども教育の専門職者の養成を目的としている。開設初年度は入学定員50名に対して52名が入学した。また、アドミッションポリシーにおいて求める能力、適性に合致した学生が入学している。開設して2ヶ月が経過し、現時点において届出書の計画を踏まえた教育研究活動が行われている。目的を達成するために、届出書の計画を確実に履行していく。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和9年5月1日 公表予定

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和9年5月1日を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。